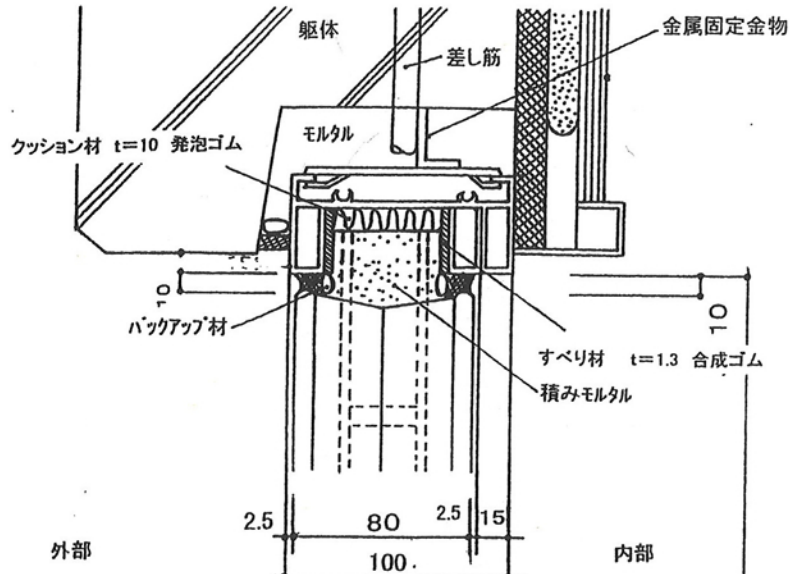


ガラスブロック標準納り図

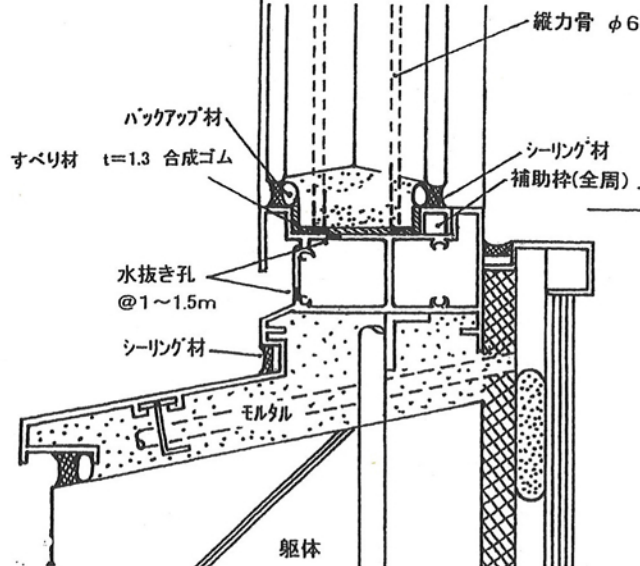
(ガラスブロックはt=80)

上部詳細図



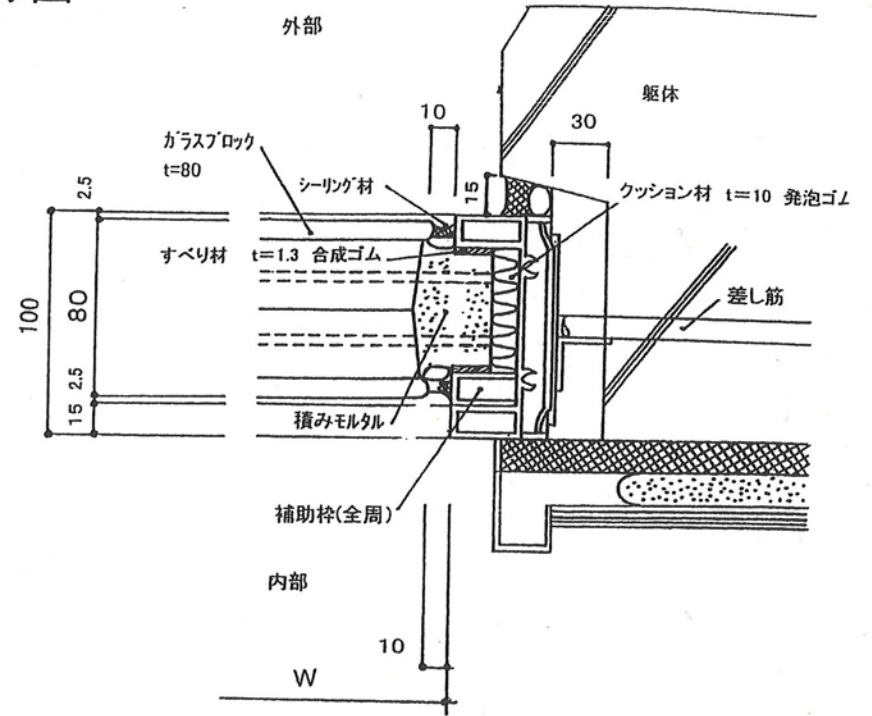
外部 内部

Ⅰ



下部詳細図

外部



補助枠(全周)

内部

W

側部詳細図

一般的な枠納まり図

(縦が主筋の場合)

- 力骨の縦と横の関係
 $H \leq W$ の場合は 縦が主筋 (外側)、横が副筋 (内側) とする。
 $H > W$ の場合は 横を主筋 (外側)、縦を副筋 (内側) とする。
- 緩衝材の厚み及び性能について
 厚みは層間変形量にて決定。性能として変形能力75%以上 (合成ゴム発砲材等) を使用
 $\Delta = H/150$ (規定層間変形量) $t \geq (\Delta/2) / 0.75 + 0 \sim 3$
- 目地幅及び目地材の性能について
 幅は層間変形量にて決定。性能として変形能力30%以上を使用
 $\Delta = H/300$ (規定層間変形量) $b \geq (\Delta/2) / 0.30 + 0 \sim 3$
- 積みモルタルについて
 セメント : 砂 = 1 : 3.5 ~ 4.0